

## 半田市財政の現状

地方公共団体では、さまざまな指標を使って、財政の健康状態を管理しています。ここでは、4つの財政指標からなる「健全化判断比率」と公営企業会計ごとの「資金不足比率」をお知らせします。表に示したとおり、いずれの数値も基準を達成し、健康な状態です。

### 健全化判断比率

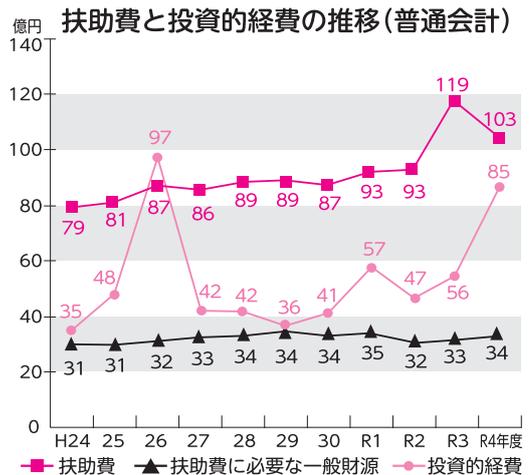
指標・基準	早期健全化基準	財政再生基準	半田市の算定結果	全国の状況(速報)
<b>実質赤字比率</b> 一般会計などの実質的な赤字は、収入の何割か	12.0%以上	20.0%以上	該当なし	なし
<b>連結実質赤字比率</b> 市の全会計の実質的な赤字は、収入の何割か	17.0%以上	30.0%以上	該当なし	なし
<b>実質公債費比率</b> 収入のうち、何割を借金の返済に充てているか	25.0%以上	35.0%以上	0.0%	5.5%
<b>将来負担比率</b> 背負っている負債は財政規模の何割か	350.0%以上	-	該当なし	8.8%

### 資金不足比率

指標・基準	経営健全化基準	半田市の算定結果			全国の状況(速報)
		病院事業	水道事業	下水道事業	
<b>資金不足比率</b> 企業会計の資産の不足額が、事業規模の何割か	20.0%以上	該当なし	該当なし	該当なし	経営健全化基準以上の公営企業会計は4会計 資金不足額がある公営企業会計は29会計

※実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率、資金不足比率においては、赤字または不足額がない場合は、「該当なし」としています。また、健全化判断比率の全国の状況(速報)には、赤字額がある市区町村の数または市区町村の平均値を掲載しています。

### 投資的経費と扶助費の状況



### 市債残高の状況

市債とは道路や公園、学校など将来にわたってみなさんにご利用いただく公共施設を建設・整備するときに、国などから借り入れる借金のことです。これらの借金は、将来の世代の方にもその費用を分け合っていただくことで、「世代間の負担を公平」にする必要性もありますが、市債残高が増えること利息の支払で財政を圧迫することになります。

半田市では平成15年度に市債残高が約955億円ありました。その後、計画的に返還したことにより、令和4年度末の市債残高は約265億円となりました。

今後は、新病院の建設や公共施設の修繕・更新等が必要になり、財源確保のために市債残高が増加に転じるため、適正な規模での地方債発行を行います。

#### 市債残高、今後は増加の見込み

